

2010年5月17日
クボテック株式会社
大阪市北区中之島 4-3-36 玉江橋ビル

「Real 3D オーディオ」誕生

クボテック株式会社（取締役社長：久保哲夫）は、HANIWA スピーカを極限まで極めた、3D オーディオ（立体音響システム）を開発を致しました。本製品の発売は、6月初旬を予定しており、スピーカーとチャンネル・デバイダーのセットで販売いたします。

【製品内容】

2WAY ホーンスピーカー（HSP2H08）
（3.5 インチコンプレッションドライバと8 インチウーファ使用）
専用チャンネル・デバイダー（HCHD03）

【製品の概要】

従来、マルチユニットのスピーカーではアンプの信号をそれぞれのユニットの帯域に分け、アッテネータにより音圧レベルを合わせるといったネットワーク方式が採用されています。しかしながら、音圧レベルではフラットに出来ても時間軸の特性を現す位相に関しては正確にコントロールされていませんでした。今回発表致しますこの製品は、専用チャンネル・デバイダーにより、音圧レベルと同時にこの位相特性もフラット化することに成功しました。その結果、時間軸でのインパルス応答とステップ応答を理想に近い状態にすることができます。

それにより録音された信号を音として忠実に再生するだけでなく、ごく自然に目の前に演奏そのものを再現する「ナチュラル・プレゼンス」を実現しました。まさにこれが真の意味での3D オーディオ（立体音響システム）の誕生と言えます。

従来の常識では実体感のある低音の再生は困難でしたので、バスレフ方式等の工夫がされてきました。しかし、音圧レベルでは再生されても時間遅れをとまなうインパクトのない音に陥っていました。この度、全く位相の遅れのない低域を実現するフィードフォワード方式の開発により、今回のサイズからでは想像もつかないスピーディでリアルな低音が再生可能となりました。

製品名： HSP2H08 （2WAY ホーンスピーカー）

価格： 2,500,000 円 （専用チャンネルデバイダーHCHD03 とセットの価格）

ユニット構成

低域： 8 インチ マグネシウム ウーファ

高域： 3.5 インチ コンプレッション ドライバ

クロスオーバー： 600Hz

寸法： 660 x 400 x 330 mm （HWD）

重量： 40Kg

専用チャンネル・デバイダー：HCHD03

アナログ入力：RCA 入力 1CH（ステレオ）

アナログ出力：RCA 出力 2CH（ステレオ）

FPDC ユニット：周波数領域でのゲイン特性と位相特性を同時に補正

プリセット：3 モード

寸法：223 x 83 x 370 mm （WHD）

重量：4.6Kg

* 製品の写真につきましては、添付の CD-ROM の写真をご利用ください。

本製品は以下で試聴していただけます。

クボテック東京スタジオ 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町 1-3-13（秋葉原駅徒歩3分）

クボテック新大阪スタジオ 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 7-5-15（新大阪駅徒歩3分）

本件に関するお問い合わせ並びに試聴のお申し込みは、

メディアネット営業部 HANIWA オーディオ担当 仲本 までお願いいたします。

電話：03-5820-3921 E-mail：haniwa@kubotek.co.jp

URL：<http://www.kubotek.com/haniwa/>